

日興グラビティ・グローバル・ファンド ＜愛称 GG10+10＞

運用報告書（全体版）

第9期（決算日 2022年7月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「日興グラビティ・グローバル・ファンド」は、2022年7月12日に第9期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2013年7月31日から2023年7月12日までです。	
運用方針	主として、「グローバル株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	日興グラビティ・グローバル・ファンド	「グローバル株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等を主要投資対象とします。
組入制限	日興グラビティ・グローバル・ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

お知らせ

当ファンドは、2023年7月12日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。

<653349>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	債 券 組入比率	投資信託 証券組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率					
	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円
5期(2018年7月12日)	13,618	100	5.1	172.84	10.4	14.8	22.8	—	61.6	3,066
6期(2019年7月12日)	13,688	100	1.2	176.76	2.3	12.5	29.1	—	57.6	2,531
7期(2020年7月13日)	13,402	100	△ 1.4	181.42	2.6	10.3	22.3	—	66.5	1,895
8期(2021年7月12日)	17,386	100	30.5	253.61	39.8	11.0	14.1	—	73.9	2,050
9期(2022年7月12日)	17,600	100	1.8	266.66	5.1	11.5	15.3	—	72.4	1,934

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
(注) 「MSCI ACワールド指数」は、「MSCI Inc.」が発表している、先進国と新興国の株式の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の（ヘッジなし、円換算ベース）とは、米ドル建ての指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2022年7月12日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首)	円	%		%	%	%	%
2021年7月12日	17,386	—	253.61	—	11.0	14.1	73.9
7月末	17,309	△0.4	254.28	0.3	11.0	14.3	73.8
8月末	17,740	2.0	259.49	2.3	11.3	14.2	73.7
9月末	17,352	△0.2	255.10	0.6	11.3	14.0	73.7
10月末	18,606	7.0	271.24	6.9	11.4	14.1	74.0
11月末	17,958	3.3	268.56	5.9	11.6	14.1	73.3
12月末	18,608	7.0	278.48	9.8	11.8	14.4	72.5
2022年1月末	17,528	0.8	260.72	2.8	11.9	13.5	72.1
2月末	17,168	△1.3	258.82	2.1	12.3	13.7	73.3
3月末	18,748	7.8	283.63	11.8	11.0	14.8	73.4
4月末	18,221	4.8	271.14	6.9	10.8	14.8	73.4
5月末	18,183	4.6	271.70	7.1	11.7	15.1	72.1
6月末	17,903	3.0	266.57	5.1	11.7	15.1	72.1
(期 末)							
2022年7月12日	17,700	1.8	266.66	5.1	11.5	15.3	72.4

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

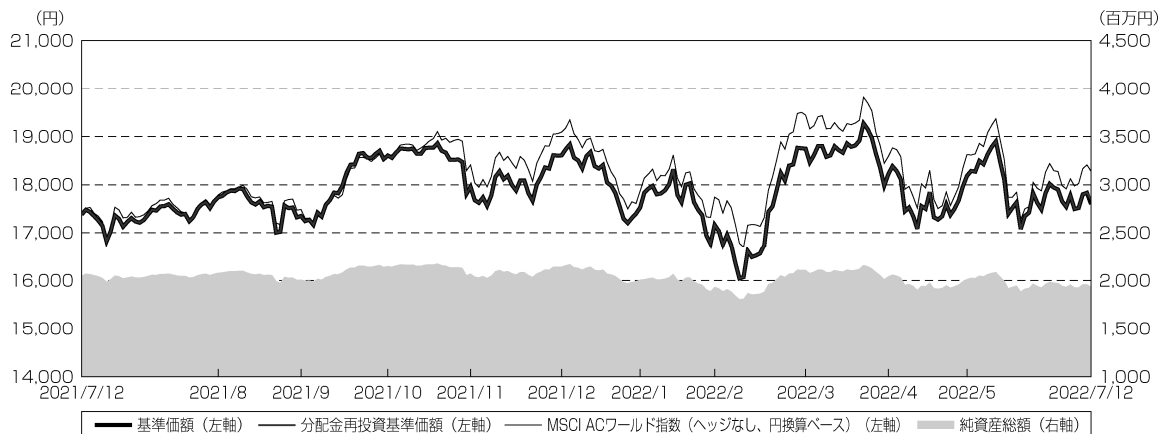
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2021年7月13日～2022年7月12日)

期中の基準価額等の推移



期 首 : 17,386円
 期 末 : 17,600円 (既払分配金 (税込み) : 100円)
 騰 落 率 : 1.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は、期首 (2021年7月12日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式、株価指数先物取引にかかる権利および上場投資信託証券などに実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行っております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及により経済活動の正常化が進むとの期待が高まったこと。
- ・投資対象国通貨が、円に対して概して上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・ロシアによるウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの制裁措置の発表や拡大決定などから、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・エネルギー価格の上昇やサプライチェーン（供給網）の混乱などからインフレ高進が警戒されたこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（F R B）が大幅利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと。

投資環境

（株式市況）

投資対象国の株式市場では、期間の初めと比較して株価は概して下落しました。

新型コロナウイルスのワクチン接種の普及により経済活動の正常化が進むとの期待が高まったことや、欧米の主要企業の2021年7－9月期の業績が堅調との期待が高まったことなどが株価の支援材料となったものの、F R Bがインフレ抑制のため早期利上げを開始し金融政策の正常化を加速させるとの見方が広がったことや、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの制裁措置の発表や拡大決定などから投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、エネルギー価格の上昇やサプライチェーンの混乱などからインフレ高進が警戒されたこと、F R Bが大幅利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと、欧州中央銀行（E C B）が政策金利の引き上げ開始や大幅利上げの可能性を示唆したことなどを背景に、株価は概して下落しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ノルウェークローネの推移



円／スイスフランの推移



円／シンガポールドルの推移



円／ユーロの推移



円／デンマーククローネの推移



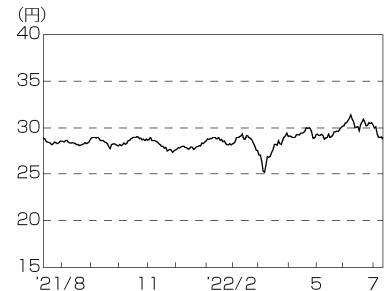
円／スウェーデンクローナの推移



円／ハンガリーフォリントの推移



円／ポーランドズロチの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（グローバル株式マザーファンド）

世界経済のけん引役として、さらなる経済発展が見込まれる20カ国に対して、「グラビティ理論」を活用した国別配分比率に基づき、分散投資を行ないました。

2021年11月には、経済成長の基礎となる主要ファクターを広範に捉えた評価ツールである「アドバンス・マトリクス」に基づき投資対象国の定期見直しを実施し、オーストラリア、タイ、フィリピンを除外し、新たにオランダ、メキシコ、インドを組み入れました。同時に、国別配分比率の定期見直しも行ないました。

2022年3月には、欧米諸国による対ロシア制裁強化を受けて投資対象国からロシアを除外しました。

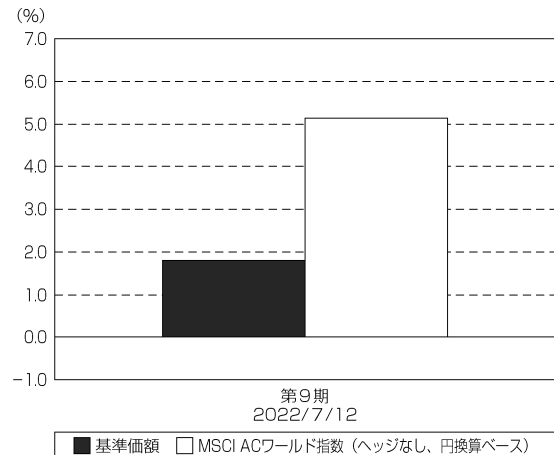
5月には、「グラビティ理論」を活用して決定した国別配分比率に定性評価を加味した結果に基づいて、国別配分比率の定期見直しを実施し、3月に除外したロシアの代わりにフィリピンを新たに組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）MSCI ACワールド指数（ヘッジなし、円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項 目	第9期
	2021年7月13日～ 2022年7月12日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.565%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,599

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル株式マザーファンド)

引き続き、世界経済のけん引役として、さらなる経済発展が見込まれる20カ国に対して、「グラビティ理論」を活用した国別配分比率に基づき、分散投資を行なう方針です。原則として年2回、ポートフォリオの見直しなどを行ない、投資対象国や国別投資比率の変更を検討します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年7月13日～2022年7月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 288	% 1.606	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(138)	(0.770)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(138)	(0.770)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(12)	(0.066)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	22	0.121	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.018)	
(投 資 信 託 証 券)	(12)	(0.066)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(7)	(0.037)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	28	0.155	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(15)	(0.082)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(5)	(0.028)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	338	1.882	
期中の平均基準価額は、17,943円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

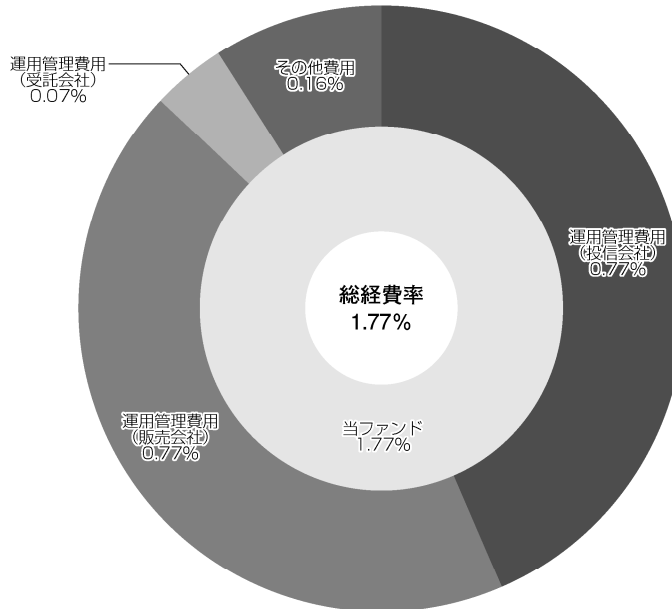
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月13日～2022年7月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル株式マザーファンド	千口 3,614	千円 7,600	千口 87,361	千円 187,907

○株式売買比率

(2021年7月13日～2022年7月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	153,474千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	234,748千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.65

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月13日～2022年7月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年7月13日～2022年7月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年7月13日～2022年7月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年7月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル株式マザーファンド	968,440	884,693	1,921,287

(注) 親投資信託の2022年7月12日現在の受益権総口数は、884,693千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年7月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル株式マザーファンド	1,921,287	97.6
コール・ローン等、その他	47,244	2.4
投資信託財産総額	1,968,531	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,669,455千円）の投資信託財産総額（1,922,160千円）に対する比率は86.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=137.24円、1ユーロ=137.80円、1スイスフラン=139.73円、1スウェーデンクローナ=12.90円、1ノルウェークローネ=13.46円、1デンマーククローネ=18.52円、1ハンガリーフォリント=0.338709円、1ポーランドズロチ=28.6754円、1シンガポールドル=97.63円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,968,531,900
コール・ローン等	47,243,928
グローバル株式マザーファンド(評価額)	1,921,287,972
(B) 負債	33,890,822
未払収益分配金	10,992,298
未払解約金	5,228,011
未払信託報酬	15,940,572
未払利息	7
その他未払費用	1,729,934
(C) 純資産総額(A－B)	1,934,641,078
元本	1,099,229,843
次期繰越損益金	835,411,235
(D) 受益権総口数	1,099,229,843口
1万口当たり基準価額(C／D)	17,600円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,179,118,526円、期中追加設定元本額は6,851,339円、期中一部解約元本額は86,740,022円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.7600円です。

○損益の状況 (2021年7月13日～2022年7月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,399
受取利息	13
支払利息	△ 3,412
(B) 有価証券売買損益	68,973,929
売買益	72,316,271
売買損	△ 3,342,342
(C) 信託報酬等	△ 34,581,064
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	34,389,466
(E) 前期繰越損益金	745,781,587
(F) 追加信託差損益金	66,232,480
(配当等相当額)	(60,080,704)
(売買損益相当額)	(6,151,776)
(G) 計(D＋E＋F)	846,403,533
(H) 収益分配金	△ 10,992,298
次期繰越損益金(G＋H)	835,411,235
追加信託差損益金	66,232,480
(配当等相当額)	(60,083,091)
(売買損益相当額)	(6,149,389)
分配準備積立金	769,178,755

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年7月13日～2022年7月12日)は以下の通りです。

項 目	2021年7月13日～ 2022年7月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	17,903,406円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	16,486,060円
c. 信託約款に定める収益調整金	66,232,480円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	745,781,587円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	846,403,533円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,699円
g. 分配金	10,992,298円
h. 分配金(1万口当たり)	100円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	100円
-----------------	------

○お知らせ

約款変更について

2021年7月13日から2022年7月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル株式マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2022年7月12日）
（2021年7月13日～2022年7月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2013年7月31日から2023年7月11日までです。
運用方針	主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

国別配分比率の決定や銘柄選定は、市場動向や成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。

運用の効率化をはかるため、株価指数先物取引等のデリバティブ取引や外国為替予約取引を活用します。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額および外貨建資産の組入総額と外国為替予約取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないませんが、市況環境などを勘案して為替ヘッジを行なうことがあります。この場合、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<637114>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	債券 組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産 総額
	期 騰 落	中 率	(参考指数)	期 騰 落	中 率				
	円	%		%	%	%	%	%	百万円
5期(2018年7月12日)	15,255	6.9	172.84	10.4	15.0	23.0	—	62.2	3,037
6期(2019年7月12日)	15,705	2.9	176.76	2.3	12.6	29.3	—	58.0	2,514
7期(2020年7月13日)	15,758	0.3	181.42	2.6	10.4	22.5	—	67.1	1,878
8期(2021年7月12日)	20,967	33.1	253.61	39.8	11.1	14.2	—	74.6	2,030
9期(2022年7月12日)	21,717	3.6	266.66	5.1	11.6	15.4	—	73.0	1,921

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

(注) 「MSCI ACワールド指数」は、「MSCI Inc.」が発表している、先進国と新興国の株式の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の(ヘッジなし、円換算ベース)とは、米ドル建ての指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2022年7月12日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		MSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券組入比率
	騰 落	率	(参考指数)	騰 落	率		
(期 首)	円	%		%	%	%	%
2021年7月12日	20,967	—	253.61	—	11.1	14.2	74.6
7月末	20,890	△0.4	254.28	0.3	11.1	14.4	74.4
8月末	21,446	2.3	259.49	2.3	11.4	14.3	74.3
9月末	21,005	0.2	255.10	0.6	11.4	14.1	74.3
10月末	22,565	7.6	271.24	6.9	11.5	14.2	74.6
11月末	21,805	4.0	268.56	5.9	11.7	14.2	74.0
12月末	22,634	8.0	278.48	9.8	11.9	14.5	73.1
2022年1月末	21,341	1.8	260.72	2.8	12.0	13.6	72.7
2月末	20,925	△0.2	258.82	2.1	12.4	13.8	74.0
3月末	22,898	9.2	283.63	11.8	11.1	15.0	74.1
4月末	22,279	6.3	271.14	6.9	10.9	15.0	74.1
5月末	22,267	6.2	271.70	7.1	11.8	15.2	72.8
6月末	21,954	4.7	266.57	5.1	11.8	15.3	72.8
(期 末)							
2022年7月12日	21,717	3.6	266.66	5.1	11.6	15.4	73.0

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2021年7月13日～2022年7月12日)

基準価額の推移

期間の初め20,967円の基準価額は、期間末に21,717円となり、騰落率は+3.6%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及により経済活動の正常化が進むとの期待が高まったこと。
- ・投資対象国通貨が、円に対して概して上昇したこと。

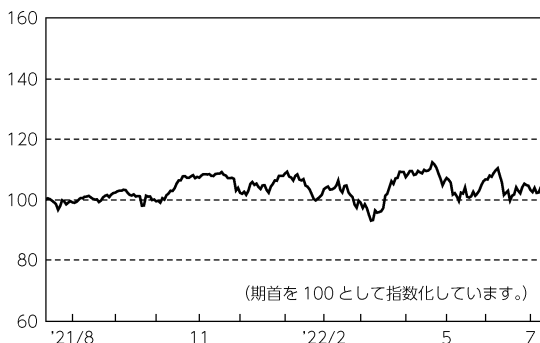
<値下がり要因>

- ・ロシアによるウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの制裁措置の発表や拡大決定などから、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・エネルギー価格の上昇やサプライチェーン（供給網）の混乱などからインフレ高進が警戒されたこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が大幅利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと。



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2021/07/12	2022/04/20	2022/03/08	2022/07/12
20,967円	23,565円	19,550円	21,717円

基準価額（指数化）の推移



MSCI ACワールド指数（ヘッジなし、円換算ベース）（指数化）の推移



（株式市況）

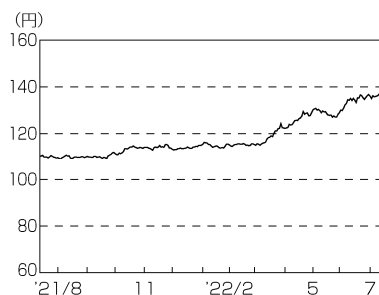
投資対象国の株式市場では、期間の初めと比較して株価は概して下落しました。

新型コロナウイルスのワクチン接種の普及により経済活動の正常化が進むとの期待が高まったことや、欧米の主要企業の2021年7－9月期の業績が堅調との期待が高まったことなどが株価の支援材料となったものの、F R Bがインフレ抑制のため早期利上げを開始し金融政策の正常化を加速させるとの見方が広がったことや、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの制裁措置の発表や拡大決定などから投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、エネルギー価格の上昇やサプライチェーンの混乱などからインフレ高進が警戒されたこと、F R Bが大幅利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと、欧州中央銀行（E C B）が政策金利の引き上げ開始や大幅利上げの可能性を示唆したことなどを背景に、株価は概して下落しました。

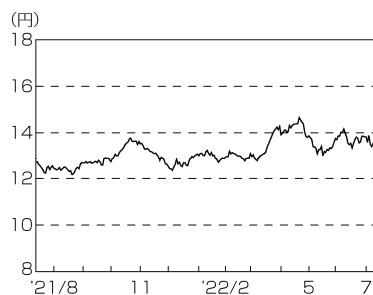
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

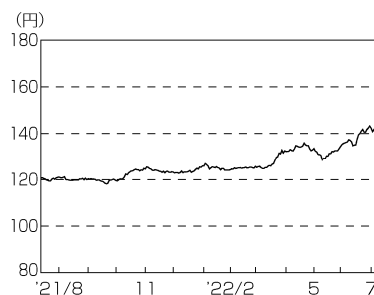
円／アメリカドルの推移



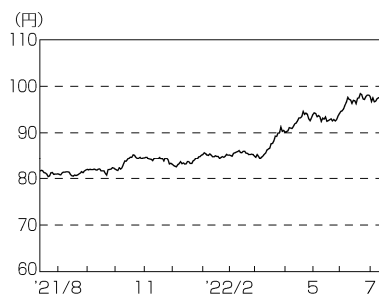
円／ノルウェークローネの推移



円／スイスフランの推移



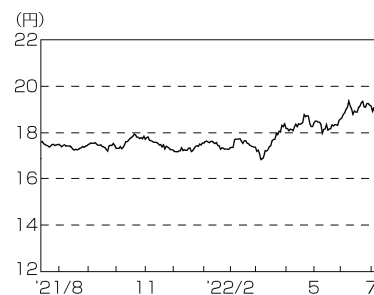
円／シンガポールドルの推移



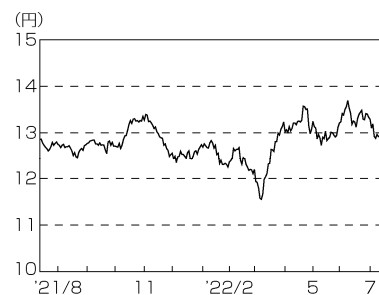
円／ユーロの推移



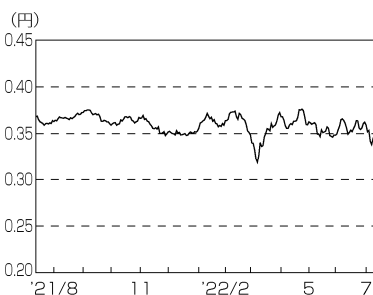
円／デンマーククローネの推移



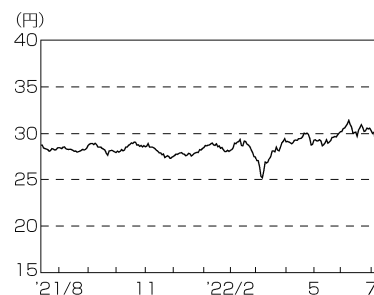
円／スウェーデンクローナの推移



円／ハンガリーフォリントの推移



円／ポーランドズロチの推移



ポートフォリオ

世界経済のけん引役として、さらなる経済発展が見込まれる20カ国に対して、「グラビティ理論」を活用した国別配分比率に基づき、分散投資を行ないました。

2021年11月には、経済成長の基礎となる主要ファクターを広範に捉えた評価ツールである「アドバンス・マトリクス」に基づき投資対象国の定期見直しを実施し、オーストラリア、タイ、フィリピンを除外し、新たにオランダ、メキシコ、インドを組み入れました。同時に、国別配分比率の定期見直しも行ないました。

2022年3月には、欧米諸国による対ロシア制裁強化を受けて投資対象国からロシアを除外しました。

5月には、「グラビティ理論」を活用して決定した国別配分比率に定性評価を加味した結果に基づいて、国別配分比率の定期見直しを実施し、3月に除外したロシアの代わりにフィリピンを新たに組み入れました。

○今後の運用方針

引き続き、世界経済のけん引役として、さらなる経済発展が見込まれる20カ国に対して、「グラビティ理論」を活用した国別配分比率に基づき、分散投資を行なう方針です。原則として年2回、ポートフォリオの見直しなどを行ない、投資対象国や国別投資比率の変更を検討します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年 7 月13日～2022年 7 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 27	% 0.122	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.018)	
(投 資 信 託 証 券)	(15)	(0.067)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(8)	(0.037)	
(b) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	15	0.069	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(保 管 費 用)	(9)	(0.041)	
(そ の 他)	(6)	(0.028)	
合 計	42	0.191	
期中の平均基準価額は、21,834円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月13日～2022年7月12日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ノルウェー	百株 237	千ノルウェークローネ 4,148	百株 118	千ノルウェークローネ 1,438
	デンマーク	—	千デンマーククローネ —	51	千デンマーククローネ 2,668
	ハンガリー	55	千ハンガリーフォリント 31,582	82	千ハンガリーフォリント 56,007

(注) 金額は受け渡し代金。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	ISHARES MSCI MEXICO CAPPED-ETF	12	613	1	60
	ISHARES CORE S&P 500 -ETF	—	—	2	1,148
	ISHARES MSCI SOUTH KOREA CAP-ETF	3	250	2	190
	ISHARES MSCI INDONESIA-ETF	5	128	5	112
	ISHARES MSCI PHILIPPINES-ETF	9	251	12	426
	ISHARES MSCI MALAYSIA-ETF	17	427	3	95
	ISHARES MSCI THAILAND-ETF	—	—	4	339
	ISHARES MSCI RUSSIA CAPPED-ETF	—	—	20	525
	ISHARES MSCI INDIA-ETF	13	690	1	51
	ISHARES MSCI TURKEY ETF	10	216	4	84
	ISHARES MSCI CHINA-ETF	6	417	1	78
	ISHARES MSCI ISRAEL CAPPED-ETF	—	—	2	151
	ISHARES MSCI CHILE CAPPED-ETF	12	336	5	153
	ISHARES MSCI NETHERLANDS ETF	12	627	10	393
	ISHARES MSCI AUSTRALIA-ETF	—	—	29	751
	小 計	102	3,960	106	4,562
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ				
	ISHARES CORE DAX UCITS ETF DE-ETF	—	—	3	441
	小 計	—	—	3	441
	ユ ー ロ 計	—	—	3	441

(注) 金額は受け渡し代金。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 株式先物取引	百万円 2,162	百万円 2,157	百万円 —	百万円 —

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○株式売買比率

(2021年7月13日～2022年7月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	153,474千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	234,748千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.65

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月13日～2022年7月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年7月13日～2022年7月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2022年7月12日現在)

外国株式

銘柄	株数	金額	当期		業種等
			株数	金額	
(ノルウェー)	百株	千円	百株	千円	
ADEVINTA ASA	17	—	—	—	メディア・娯楽
AKER BP ASA	—	13	443	5,975	エネルギー
DNB BANK ASA	75	111	2,005	26,990	銀行
MOWI ASA	37	62	1,469	19,778	食品・飲料・タバコ
NORSK HYDRO A S	120	140	764	10,296	素材
ORKLA ASA	78	78	648	8,733	食品・飲料・タバコ
EQUINOR ASA	76	95	3,255	43,821	エネルギー
TELENOR ASA	63	79	1,046	14,089	電気通信サービス
YARA INTERNATIONAL ASA	13	19	806	10,860	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	480 8	599 8	10,441 —	140,545 <7.3%>
(デンマーク)			千デンマーククローネ		
AP MOELLER - MAERSK A/S - B	0.2	0.12	207	3,839	運輸
CARLSBERG AS-B	0.7	0.7	65	1,216	食品・飲料・タバコ
CHR HANSEN HOLDING A/S	3	—	—	—	素材
COLOPLAST-B	3	2	169	3,135	ヘルスケア機器・サービス
DANSKE BANK A/S	26	13	128	2,384	銀行
ORSTED A/S	5	2	235	4,364	公益事業
DSV A/S	4	2	299	5,547	運輸
GENMAB A/S	1	0.94	234	4,346	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVO NORDISK A/S-B	39	21	1,719	31,841	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVOZYMES A/S-B SHARES	6	3	163	3,020	素材
VESTAS WIND SYSTEMS A/S	27	18	309	5,730	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	116 11	65 10	3,532 —	65,427 <3.4%>
(ハンガリー)			千ハンガリーフォリント		
RICHTER GEDEON NYRT	23	17	12,755	4,320	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MOL HUNGARIAN OIL AND GAS PL	67	51	14,931	5,057	エネルギー
OTP BANK PLC	36	28	23,307	7,894	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	126 3	98 3	50,994 —	17,272 <0.9%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	723 22	763 21	—	223,245 <11.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)		当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		千口	千口	千アメリカドル	千円	%
ISHARES MSCI MEXICO CAPPED-ETF		—	11	510	70,081	3.6
ISHARES CORE S&P 500 -ETF		15	12	4,827	662,577	34.5
ISHARES MSCI SOUTH KOREA CAP-ETF		8	9	537	73,833	3.8
ISHARES MSCI INDONESIA-ETF		34	34	749	102,900	5.4
ISHARES MSCI PHILIPPINES-ETF		12	9	229	31,496	1.6
ISHARES MSCI MALAYSIA-ETF		9	22	488	66,979	3.5
ISHARES MSCI THAILAND-ETF		4	—	—	—	—
ISHARES MSCI RUSSIA CAPPED-ETF		20	—	—	—	—
ISHARES MSCI INDIA-ETF		—	12	505	69,307	3.6
ISHARES MSCI TURKEY ETF		14	20	370	50,842	2.6
ISHARES MSCI CHINA-ETF		11	16	896	123,041	6.4
ISHARES MSCI ISRAEL CAPPED-ETF		5	3	203	27,959	1.5
ISHARES MSCI CHILE CAPPED-ETF		10	17	412	56,601	2.9
ISHARES MSCI NETHERLANDS ETF		—	2	67	9,296	0.5
ISHARES MSCI AUSTRALIA-ETF		29	—	—	—	—
小 計	口 数 ・ 金 額	176	172	9,799	1,344,917	
	銘 柄 数 < 比 率 >	12	12	—	< 70.0% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
ISHARES CORE DAX UCITS ETF DE-ETF		7	3	411	56,707	3.0
ユ ー ロ 計	口 数 ・ 金 額	7	3	411	56,707	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.0% >	
合 計	口 数 ・ 金 額	183	176	—	1,401,624	
	銘 柄 数 < 比 率 >	13	13	—	< 73.0% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当	期	末
			買	建 額	売 建 額
外 国	株式先物取引	MSCISGIX	百万円		百万円
		OMXS30	82		—
		SWISSMKT	32		—
		WIGM20DX	169		—
			12		—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年7月12日現在)

項 目	当	期	末
	評 価 額	比	率
株式	千円		%
投資信託受益証券	223,245		11.6
コール・ローン等、その他	1,401,624		72.9
投資信託財産総額	297,291		15.5
	1,922,160		100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（1,669,455千円）の投資信託財産総額（1,922,160千円）に対する比率は86.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=137.24円、1ユーロ=137.80円、1スイスフラン=139.73円、1スウェーデンクローナ=12.90円、1ノルウェークローネ=13.46円、1デンマーククローネ=18.52円、1ハンガリーフォリント=0.338709円、1ポーランドズロチ=28.6754円、1シンガポールドル=97.63円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2, 171, 598, 650
コール・ローン等	253, 824, 597
株式(評価額)	223, 245, 153
投資信託受益証券(評価額)	1, 401, 624, 988
未収入金	254, 088, 449
差入委託証拠金	38, 815, 463
(B) 負債	250, 345, 292
未払金	250, 345, 254
未払利息	38
(C) 純資産総額(A－B)	1, 921, 253, 358
元本	884, 693, 085
次期繰越損益金	1, 036, 560, 273
(D) 受益権総口数	884, 693, 085口
1万口当たり基準価額(C／D)	21, 717円

(注) 当ファンドの期首元本額は968, 440, 105円、期中追加設定元本額は3, 614, 195円、期中一部解約元本額は87, 361, 215円です。

(注) 2022年7月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・日興グラビティ・グローバル・ファンド 884, 693, 085円

(注) 1口当たり純資産額は2. 1717円です。

○損益の状況 (2021年7月13日～2022年7月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	40, 693, 565
受取配当金	40, 713, 794
受取利息	93
その他収益金	10, 322
支払利息	△ 30, 644
(B) 有価証券売買損益	64, 721, 592
売買益	440, 469, 255
売買損	△ 375, 747, 663
(C) 先物取引等取引損益	△ 32, 939, 705
取引益	30, 500, 816
取引損	△ 63, 440, 521
(D) 保管費用等	△ 1, 424, 575
(E) 当期損益金(A＋B＋C＋D)	71, 050, 877
(F) 前期繰越損益金	1, 062, 068, 734
(G) 追加信託差損益金	3, 986, 457
(H) 解約差損益金	△ 100, 545, 795
(I) 計(E＋F＋G＋H)	1, 036, 560, 273
次期繰越損益金(I)	1, 036, 560, 273

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年7月13日から2022年7月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。